

新宿区次世代育成支援計画(素案)への意見[中間のまとめ]

計画全体について		
<p>論点1 新宿区の特徴・課題に対する施策(特に重点施策)は適切に把握しているか。</p>		
計画全体について	<p>新宿区らしい計画という部分をどこまで出せるか。 [第3回策定協議会]</p> <p>アンケート結果から導き出された「新宿区の課題」、「住民のニーズ」を計画に生かしている構造をはっきりさせること。 [第3回策定協議会]</p> <p>区もやるけれど皆さんも一緒になって動いて、よいまちにしていくという計画なのだというような重点的な柱がいくつかあるようなわかりやすい出しかたをしないと、細かく読めば全部わかるけれども新しいことが始まったということにはなりにくい。 [第3回策定協議会]</p> <p>今後ますます厳しくなる財政を見据えて女性の視点から事業を見直し持続性のある計画にしてほしい。 [落合第一地域懇談会]</p> <p>「事業運営の効率化等による財源確保」と「負担の適正化」の2つの言葉がむすびついて「区民の負担」のイメージがうまれる。国や都に向けて「日本の将来を担う子どもたちにかけるべきお金をかけて」とアピールしていくこともりこめたら。 [策定協議会]</p>	<p>P15 新宿区の特徴・課題</p> <p>各項目毎関係調査結果を掲載</p> <p>P16 重要施策を指定</p>
<p>論点2 少子化対策計画としての目標は適切か。</p>		
	<p>アンケートによれば、新宿は子育てしやしくないと答えた人が多かった。これを逆転させる位のスローガンを掲げたらどうか。 [第3回策定協議会]</p> <p>5%1000人の子育てがあまり楽しくないと感じている人にアウトリーチしこの人たちが「新宿区で子どもを産んでよかった」「私は救われた」といってもらえるような施策に重点を置くことによって心が通うものになる。[第2回策定協議会]</p>	<p>P3 基本目標</p>

	<p>新宿区の合計特殊出生率を上げることを目標にしらたどうか。 [落合第一地域懇談会]</p>	
<p>計画の進行管理</p>		
<p>論点3 庁内のチェック体制をどうするか</p>		
<p>計画の進行管理</p>	<p>できれば作ったプランが本当にうまく具体化されているのかなどをチェックする必要があるであり、たとえば区長直属の体制などができないか。 [第3回策定協議会]</p> <p>行政施策評価へのアプローチが必要。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p>	<p>P4計画を推進していく体制づくり</p>
<p>論点4 地域の意見を反映させていくしくみをどうつくるか</p>		
	<p>地域ごとに地域協議会をつくったらどうか。 [第4回策定協議会]</p> <p>住民と行政が忌憚ない意見交換ができる場を作っていくべき。 [榎町地域懇談会 報告メモ]</p> <p>実際の若いママたちと話して、自分の感覚とずれたものがあることがわかった。(新聞をとっていない等) [第2回策定協議会]</p> <p>対面調査は、1回だけでなく続けていくのも大切ではないか。 [第2回策定協議会]</p> <p>この計画の趣旨を良く理解してもらうことが重要。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p>	<p>P4計画を推進していく体制づくり</p>

目標 1 子どもの生きる力と豊かな心を育てます		
提案1 子どもの権利の内容を明記したらどうか		
子どもの権利	<p>子どもの権利がどのようなものか分かりづらい。 [第4回地域懇談会]</p> <p>子どもの生きる力と豊かな心を育てるが一番重要と考えられる。 [榎町地域懇談会]</p> <p>子どもの権利条約を計画書に載せたらどうか。 [戸塚地域懇談会報告メモ]</p> <p>「子どものため」の視点を持ち続け、区民が行政に対して不信感をもたれないようにすべき。 [榎町地域懇談会報告メモ]</p>	P18 子どもの権利を大切に する取り組み の充実
提案2 子ども同士の意見交換の場を設けたらどうか		
	<p>子ども同士の意見交換の場を設ける必要があるのではないか。(子ども向けのホームページ等) [落合第二地域懇談会報告メモ]</p>	P46 子育て情報局
論点5 中高生への視点をどのように盛り込むか		
中高生対応	<p>中高生の居場所をどうしていくのか見えてこない。 [第4回策定協議会]</p>	P29 児童館の 充実
提案3 中高生の居場所づくりについて		
	<p>ドイツの例だが、一つのビルを若者に開放するとき、中で不良行為をするかもしれないが、そのリスクを侵しても開放する。こうしないと若者の溜まり場はつukれない。 [第5回策定協議会]</p> <p>中学生が気軽に大人と話せる場つくったらどうか。 [榎町地域懇談会]</p>	P29 児童館の 充実

	<p>中学生の居場所について中学生の子どもに聞いたところでは、何の結果も求められない場所なら行ってもよいという答えだった。 [榎町地域懇談会]</p> <p>地域の行事について低年齢の子どもたちの参加がほとんどで小学校高学年、中学生の参加が少ない。 [策定協議会]</p> <p>中学生と赤ちゃんの交流事業は、幼稚園児、保育園児との触れ合いのほうが実現しやすいのでは。 [策定協議会]</p>	
提案4 公園以外の資源の活用も進めたらどうか		
遊び場	<p>緑地、公園、坂道など地形態を生かした遊び場の工夫と遊びの質向上への取り組み。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p> <p>子育て散策路(戸山の緑地など)を指定したらどうか。 [戸塚地域懇談会報告メモ]</p> <p>戸山ハイツの空間の利用 [戸塚地域懇談会報告メモ]</p>	P27 子どもの遊び場・居場所の充実
論点6 児童館に求められている役割の明確化ができていますか		
児童館	<p>児童館の役割の大切さを、今回の面接調査を通じて非常に強く感じた。 [第2回策定協議会]</p> <p>児童館利用に関しては、子ども達も含めて利用する人が話し合いを重ね児童館をその地域でどのような位置づけにするか話し合うべき。 [榎町地域懇談会報告メモ]</p> <p>高田馬場第一児童館では、児童館を窓口としていつでも意見を受け入れるような体制をとっているがよいことだと思う。 [第2回策定協議会]</p> <p>児童館は一才児の集い等でお母さんがほっとしているようだが、狭いので離乳食を食べさせる場所もない。 [第3回策定協議会]</p>	P29 児童館の充実

	<p>児童館プログラムの工夫が必要。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p> <p>児童館運営により多くの住民を参加させるシステムを考 えること。 [榎町地域懇談会報告メモ]</p>	
論点7 学校は地域の子育て支援にどのように貢献できるか		
学校	<p>アンケートで保護者の相談や情報提供として利用したいと ころとして学校が挙がっているが、結果が生かされていな い。 [第3回策定協議会]</p> <p>学校の中に地域の親のための相談機能を持たせてはどうか。幼稚園や保育園が子育て支援ということを国から言われ て一生懸命やっていて何とかこなそうとしているのに、学 校は関係ないというのはおかしいことだと思います。 [第2回策定協議会]</p> <p>学校をもっと有効活用していこうとする姿勢はかなり住民に うける感じがする。 [第3回策定協議会]</p> <p>学校が何を考えているのか、通学している関係者以外には 伝わらない。 [榎町地域懇談会 報告メモ]</p> <p>統廃合のことばかり。30人学級の実現も視野に入れられな いか。 [策定協議会]</p> <p>学校を居場所として活用すれば、塾など行かなくても良くな るので。 [第3回策定協議会]</p> <p>期待されている場と取組みの課題がちぐはぐ。「校庭を」を どう変化させるか。芝生、土等子ども本来の姿が出せる場 を求められないか？ [策定協議会]</p> <p>学校の図書の少なさには唖然とした。[第4回策定協議会]</p>	<p>P31 学校を核 とした子どもの 居場所づくり</p> <p>P35 図書館活 動の充実</p>

	<p>学校図書館を一般開放できないか。またパソコンを設置し自由に使えるようにできないか。 [策定協議会]</p> <p>学校評議員制度は、開かれた学校づくりにどこまで役立っているか疑問に思っている。教育現場の先生にとって評議員の存在がいかにあるべきかの話し合いがなされていないのではと感じる。 [策定協議会]</p> <p>幼児教育とは、どのような内容のものを言っているのか。また幼稚園での教育活動に言及しているが、保育園での「幼児教育」には言及がされていない。 [策定協議会]</p>	<p>P21 開かれた学校づくりの推進</p> <p>P24 幼児期の教育・保育環境の充実</p>
--	---	---

目標2 利用しやすいサービスですべての子育て家庭をサポートします

論点8 サービスの質の向上と使いやすい提供の方向性は適切か

きめこまやかな
子育て支援サー
ビスの充実

「知っているけど利用の仕方がわからない」、「利用したいけれどもニーズに合わない」「欲しい時に使えない」等せっかくあるのに使えない、使う気にならないという意見があった。

[第2回策定協議会]

ファミサポで来てくれた人と相性が悪く断ったという人がいた。人材が豊富であればこの人を断っても次の人、「今度の人はどうですか」と気安く利用することができると思う。

[第2回策定協議会]

民間のベビーシッターを利用したことがあるが、非常によく教育されていてすごく充実したサービスを受けた経験がある。民間でやっているものをなぜ区でやるのかと思う。

[第2回策定協議会]

P45 利用者に
届く情報発信

P39 きめこま
やかな子育て
支援サービス
の充実

論点9 どうしたら必要な人に情報やサービスを届けることができるか。

情報

広報紙は新聞折込だが、新聞をとっていない家庭も多く、情報は掲示板やスーパーの入り口に貼ってほしいという声があった。

[第2回策定協議会]

皆さんに分かりやすく PR していかなければいけないと感じた。

[第2回策定協議会]

そこまでの経験でしか区のサービスを考えていないようだ。(子どもの成長に応じて必要な情報も変わってくるがうまく対応できていないようだ)

[第2回策定協議会]

コンビニは今後間違いなく情報拠点になると思う。

[第2回策定協議会]

P45 利用者に
届く情報発信

	<p>生まれてすぐの家庭に子育てパンフレットを配っているが、その時期は余裕がないので、生後5ヵ月後くらいの時期に渡すのがよい。 [第2回策定協議会]</p> <p>情報が住民に届いていないのはショック。双方向の情報利用システムの充実に力をいれるべき。 [第3回策定協議会]</p> <p>本当に情報を必要としている人に情報がとどかないという問題。 [第5回策定協議会]</p>	
提案5 サービスが必要な人とサービスをつなぐ人を地域に増やそう		
	<p>カウンセラーがいくら増えても社会が動かない。一緒になって動いてくれるようなソーシャルワーカーというのがたくさん必要。 [第5回策定協議会]</p> <p>民生委員さんとか主任児童員さんのような方々が、情報が届かないところに届けてくれれば。 [第5回策定協議会]</p> <p>情報が届いていないだけでなく潤滑油のような装置がやはり少なかったのではないか。 [第5回策定協議会]</p>	<p>P42 総合的な連携による効果的な次世代育成支援の実現</p>
論点10 相談窓口はわかりやすいか		
<p>相談</p>	<p>保育園利用者は、保育園の先生に相談できるが、専門の人は幼稚園に行くまで相談窓口がない。 [第2回策定協議会]</p> <p>子どもに問題が生じた時どこに相談して良いのかわからない。 [榎町地域懇談会]</p>	<p>P42 総合的な連携による効果的な次世代育成支援の実現</p>

論点11 孤立家庭、ハイリスク家庭への対応は十分か

孤立家庭・ハイリスク家庭への対応

生後2週間くらいが一番の危機だといわれている。その後2ヶ月、10ヶ月というようにいくつかの発達段階の危機が訪れた時、このボタンを押せば必ずどこかに連絡がいき、誰かが来てくれるみたいなシステムがあれば「新宿区はすごいということになる。
[第2回策定協議会]

出産後退院して2週間目に助産婦さんが来てくれた時の安心感、本当に救いになった経験がある。外に出られない時期のケアは大きい。
[第2回策定協議会]

保健婦が忙しくなかなか子育て訪問に回る余裕がないようなら、子育てが終わり、多少余裕がある年代の人材を育成し、ボランティア等子育て支援に携わってもらうのはどうか。
[第2回策定協議会]

助産婦さんを組織し、子育て訪問するような制度ができないかと考えている。
[第2回策定協議会]

子育てをつらいと考えている5%の人に情報が届くようになると、ほかの人にも届くことになるのでは。
[第5回策定協議会]

5%のハイリスクの保護者を孤立させずに、気軽に出てくれそうなところをさしあたり新宿の中でことここに重点的にモデル地区を育てる。
[第5回策定協議会]

孤立している親子が心配。孤立しない子育てのために声をかけることは大切。
[落合第二地域懇談会]

ハイリスク家庭とは、どうしたら出会えるか [シンポジウム]

友達関係が容易にできる人がいる一方仲良しグループに入れないというお母さんもいるのでそういう人への対応も考えるべき。
[第2回策定協議会]

P58 虐待予防および被虐待児と家庭への支援

論点12 外国人家庭へ対応は十分か		
外国人家庭への支援	<p>新宿区の場合外国人の割合がかなり多いので、そういう方たちとコミュニケーションをどうとるか。[第2回策定協議会]</p> <p>外国人に対する視点がかけているのではないか。 [榎町地域懇談会]</p> <p>外国人の子どもを含めた子どもたちが将来新宿で子育てしたいと考えるまちづくりをすべき。 [榎町地域懇談会]</p>	P57外国人家庭への支援
論点13 特に配慮が必要な家庭へ施策の方向性は適切か		
ひとり親家庭への支援	<p>ひとり親家庭など多様な家庭があることを考慮してほしい。 [落合第二地域懇談会]</p> <p>ひとり親家庭、母子家庭、父子家庭という表現があるが、母子と父子を区別する理由はあるのか。[大久保地域懇談会]</p>	P56ひとり親家庭への支援
論点14 経済的支援を強化すべきなのか、優先させるべき施策はなにか。		
経済的支援	<p>アンケートでは経済的支援を求める声が多いのに、それが反映されていない。 [シンポジウム]</p> <p>経済的問題は、子育て中の親にとって切実。 [榎町地域懇談会報告メモ]</p> <p>住宅事情や経済的事情でこれ以上、子どもが育てられないということもある。 [第3回策定協議会]</p> <p>妊婦健診代が高い(5000から6000円かかるとのこと)といことで「お金がないと子どもが産めないという話を聞いた。 [第2回策定協議会]</p>	P59経済的な支援

	<p>「各種助成事業を実施しています。」に対する「もっと」という声にどう応えられるようにするのか？ [策定協議会]</p> <p>子どもたちを育てる国の姿勢を強くアピールしたい。 [策定協議会]</p> <p>「保育サービス利用者と在宅子育て家庭への公的支援の不均衡への対応」「コスト配分」 保育園利用者の反発を買いそう。 子育てになじまない表現。 [策定協議会]</p>	
--	--	--

目標3 子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりを進めます

論点15 保育サービスは十分か

多様な保育サービス

夜間子どもを安心して預けられる保育園がもっと必要。

[大久保地域懇談会報告メモ]

「学童クラブの学校内設置の検討」の記述に「統廃合による新築・改築時等 校内にスペースが確保できる場合には併設を検討」とあるが、統廃合でなければならないのか？近い将来に感じる表現。課長は何年、何十年かかるかわからないといった表現だったが。

[策定協議会]

P61 多様な保育サービスの展開

P64 学童クラブの充実

<p>目標4 家庭・地域の子育て力・教育力をアップします</p>		
<p>論点16 「場」をつくるための施策展開は十分か</p>		
<p>つどいの場</p>	<p>区の施設を有効利用すれば各地に核となる施設ができるのでは。 [第3回策定協議会]</p> <p>地域の子育て力を高めるために、気軽に集えるような場所がほしい。 [落合第二地域懇談会]</p> <p>親父の会のようなお父さんたちだけのネットワークづくり。 [第5回策定協議会]</p> <p>おしゃべりする場が本当はない。 [第5回策定協議会]</p> <p>本音で話し合えることの喜びみたいなのを手にいれながら、少しずつ親として自己肯定感をふやしていく。 [第5回策定協議会]</p> <p>場、心理的にも精神的にも共通の場が持てるような雰囲気も大切。 [第5回策定協議会]</p>	<p>P67 家庭・地域の子育て力・教育力向上への働きかけの充実</p>
<p>論点17 地域の子育て力を高めるための方策は十分か</p>		
<p>地域との協働</p> <p>既存の組織</p>	<p>町会自治会があるが、若い子育て世帯がほとんど参加していない。 [策定協議会]</p> <p>各地域の育成会や町会の行事と子どもたちの関わりを知りたい。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p> <p>スポーツ交流会で活動しているが、ボランティアの人も疲れてきたので支援してほしい。 [若松地域懇談会]</p> <p>地域のお祭りなどで高齢者が子どもの面倒をみる場面があるが、高齢者も結構喜んでいるようだ。身近な方なので、いつでも会えますし、子どもを預ける方も安心できるのでそういう方の力をお借りしたらどうか。 [第2回策定協議会]</p>	<p>P71 地域との協働で進める次世代育成支援</p>

	<p>4～5年前から、鶴巻地区では鶴巻小学校PTAがお手伝い係を作り、地域の活動を手伝っている。係の人は必ず手伝いに出るというのではなく、手伝える時には出てくるとしているが、上手く働いている。 [榎町地域懇談会]</p> <p>大人が子どもに声を掛けるなど、大人の側から子ども達に働きかけ地域力をつけるようにすべき。 [榎町地域懇談会]</p> <p>子どもが各種行事で忙しいので子どもの行事を整理統合するべきでは。 [榎町地域懇談会]</p>	
<p>論点18 子育てネットワークづくりをどのように進めるか</p>		
<p>地域との協働</p> <p>新しい子育てネットワーク</p>	<p>地域との協働で進める次世代育成支援が北山伏の事業のみに集約されている印象を受ける。 [榎町地域懇談会報告メモ]</p> <p>市民の側がこれを機会にして新宿区子育てネットワーク組織というものを拡充していくようなことを高らかにうたわないと。 [第5回策定協議会]</p> <p>ネットワーク作りは社協がふれあいまちづくり事業でやっているのでは。 [第5回策定協議会]</p> <p>新宿には病院が多い、何か連携をとれないか。 [シンポジウム]</p> <p>企業も働き方の見直しが求められるが、そのような企業をどう探し出すか。 [シンポジウム]</p> <p>デパートの子ども用品売り場との連携。(地域の子育て、児童へのアプローチ等) [戸塚地域懇談会報告メモ]</p> <p>地域内の大学、専門学校の学生の参加による遊び場の充実を図る。 [戸塚地域懇談会報告メモ]</p>	<p>P71地域との協働で進める次世代育成支援</p>

	<p>市民グループ等にある程度の助成も必要。 [第5回策定協議会]</p> <p>保護者同士が繋がりをもてるシステムがほしい。 [榎町地域懇談会]</p> <p>当事者である父母会(保護者会とすると学校の会と混同する)がもっと充実すると良いと思われるので、行政もこの意味での父母会を支援するシステムを作って欲しい。 [榎町地域懇談会]</p>	<p>新宿区・地域との協働推進計画「協働推進基金」の設置、公募補助金制度の導入</p>
<p>提案6 地域の大人の意識改革のための提案を出そう</p>		
<p>意識改革</p>	<p>子どもはもともと社会で育てるという概念に移行しないと。 [第5回策定協議会]</p> <p>次世代育成の質を考えると、親の倫理観が子どもに与える影響が大きいことを考慮すべきだ。 [落合第二地域懇談会]</p> <p>住民の声を計画に反映させようと言うことですが、われわれはそのように意見を述べていくような教育訓練がされていないのでどうしたらよいか。 [シンポジウム]</p> <p>大人が豊かな経験、豊かな心を持っていないと豊かな子どもは育たない。 [シンポジウム]</p> <p>それぞれの地域性を考慮しながら子育て意識向揚の機会をつくるべき。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p> <p>新しい情報、知識を得るための定期的な講演の開催(大学の教室の解放を含めて)し、子育て意識を高める。 [落合第二地域懇談会報告メモ]</p>	<p>P67 家庭・地域の子育て力・教育力向上への働きかけの充実</p>

	<p>暇な人がいて、大変な人がいるんだったら助ければいい。 暇な人に少しは社会に貢献しよう、地域で何かしようと引っ張り出せれば。</p> <p>[第5回策定協議会]</p>	
--	--	--

その他		
<p>提案7 庁内の連携を高め、職員の資質向上に努める</p>		
<p>庁内組織の連携等</p>	<p>教育と福祉のもっと連携をとるべきでは。 [落合第二地域懇談会]</p> <p>保育園・児童館・ことぶき館の交流が少ない。 [榎町地域懇談会]</p> <p>行政の関係職員も勉強してほしい。 [シンポジウム]</p>	
<p>論点19 民営化 = 質の低下か</p>		
<p>多様な運営主体への不安</p>	<p>幼稚園利用者は存続について不安を感じ、保育園利用者は民営化に不安を感じている。 [第2回策定協議会]</p> <p>民間委託等を実施した場合は、やりっぱなしではなくしっかり検証してほしい。 [落合第二地域懇談会]</p> <p>評価をする場合、コストばかりでなく質も評価してほしい。 [落合第二地域懇談会]</p> <p>経済効率優先の次世代育成支援では、社会的不平等が広がるのでは。 [シンポジウム]</p> <p>保育園の統廃合・民営化は、次世代育成支援に反するのでは。 [シンポジウム]</p> <p>改築後の多様な主体による運営 公平性の問題をいかにクリアできるか？ あいまいながら「区」は手を離すよ、と読めてしまう。 [策定協議会]</p>	<p>P24 幼児の教育・保育環境の充実</p> <p>P62 多様な保育サービスの展開</p> <p>P64 学童クラブの充実</p>